

高等学校第2学年 国語「古典B」学習指導案

期 日 平成27年10月29日(木)
授業者 学校教育課 松本 晶子

1 単元名 物語『源氏物語』「光源氏誕生」

2 単元について

「古典B」は、古典を読む能力を養うことを中心的なねらいとしている。古典を読む能力を養うことは、自分のものの見方、感じ方、考え方を広くすること、古典に親しんで人生を豊かにする態度を育成すること、古典についての専門的な学習を行うことなどの基盤である。生徒たちはこれまで、「説話」や「歌物語」、「歴史物語」などの学習を通して、古文を読むための基礎・基本の習得に努めてきた。本単元では、語句の意味を文脈に即して的確に捉えたり、文法や敬語の知識を活用して、省略された言葉を補ったりして読むことで、文章を正確に読み取らせたい。さらに、本文の記述を基に、登場人物の心情を考えさせることで、物語の世界をより深く理解させたい。

また、本単元『源氏物語』「光源氏誕生」は、平安時代の貴族社会を描いた長編の物語の冒頭部分である。『源氏物語』は、和歌、謡曲、物語、戯曲など、各時代の文化に多大な影響を及ぼしてきた。現代に至るまでの日本文化、生活全般に絶大な影響力をもち、まさに物語文学の最高峰に位置する作品と言え、世界に誇る日本文学作品の一つである。本単元の学習を通して、『源氏物語』の世界観に触れさせ、当時の貴族社会について理解させたい。現代とは異なる社会の人々の考え方に触れ、ものの見方や考え方を広めることは、多様な人々とコミュニケーションを取らなければならない現代の生徒たちにとって有意義な学習になるはずである。

3 単元の目標

- ・文章に描かれている人物の言動や状況を、文や文章、語句などを手掛かりにして読み取ろうとしている。【関心・意欲・態度】
- ・文章に描かれている人物の言動や状況を、文や文章、語句などを手掛かりにして読み取ることができる。【読む能力】
- ・文や文章の組立、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにする。【知識・理解】

4 単元の評価規準

関心・意欲・態度	読む能力	知識・理解
文章に描かれている人物の言動や状況を、文や文章、語句などを手掛かりにして読み取ろうとしている。	文章に描かれている人物の言動や状況を、文や文章、語句などを手掛かりにして読み取っている。	文や文章の組立、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解している。

5 取り上げる言語活動

文章に描かれている人物の状況や心情を、文章中の表現を根拠に話し合うこと。

6 教材 『源氏物語』「光源氏誕生」（数研出版『古典B』）

7 単元の指導計画（全6時間）

	主な学習活動	評価の規準と方法
一 次	① 源氏物語について調べ、紹介文を書く。 ② 第一段落の現代語訳をする。 ③ 帝が桐壺の更衣を寵愛することに対して、周りの人がどのように思っているかを理解する。〈本時〉	記述を基に、それぞれの人物の「思い」を読み取っている。【読む能力】 「記述の分析」
二 次	① 第二・三段落の現代語訳をする。 ② 二人の皇子に対する帝の接し方の違いを理解する。	文法事項や重要語句に注意し、語句を補いながら現代語訳をしている。【知識・理解】 「記述の点検」
三 次	① 第四段落の現代語訳をする。 ② 桐壺の更衣の置かれている状況について理解する。 ③ 『源氏物語』の設定について考える。	桐壺の更衣の置かれている状況について、記述を基に読み取ろうとしている。【関心・意欲・態度】 「行動の観察」

8 本時の目標

帝と桐壺の更衣を取り巻く周囲の人々の「思い」を理解する。

9 指導の視点

古文の学習では、まず古文単語の意味や文法の確認をして現代語訳をさせるという指導が一般的である。本単元は、古文の中でも難解な文章であるので、正確な現代語訳をさせることが必要である。電子黒板に本文を提示し、視覚的に生徒に示し、自分の力で現代語訳ができるように指導したい。また、適切な言葉を補いながら現代語訳をすることで、登場人物の「思い」について、本文の記述を基に考えさせる。

10 本時の展開（2／6）

学習内容	学習活動	指導上の留意点	評価の観点	評価方法
導入	① 本文の音読を行う。 〈一斉音読〉	・語句の区切りなどに注意させる。		

	② 前時の学習内容を振り返る。	・女御や更衣たちが、桐壺の更衣のことをどのように思っていたのかを確認させる。		
展開	③ 現代語訳の確認をする。 ④ 帝が桐壺の更衣を寵愛することに対する、周りの人の反応を確認し、ワークシートにまとめる。	・古語の意味や文法事項、敬語に注意し、言葉を補いながら現代語訳させる。 ・本文の記述を基に考えさせる。	語句の意味や用法を理解しているか。 【知識・理解】 本文の記述を基に、周りの人々の「思い」について理解しているか。 【読む能力】	記述の点検 記述の点検
まとめ	⑤ 桐壺の更衣が置かれた状況について考える。	・第一段落から読み取れる桐壺の更衣の置かれた状況について考えさせる。		